

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)

【公開番号】特開 2011-234226 (P2011-234226A)  
 【公開日】平成 23 年 11 月 17 日 (2011.11.17)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-046  
 【出願番号】特願 2010-104185 (P2010-104185)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 27/034 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 N

G 1 1 B 27/034

【手続補正書】  
 【提出日】平成 25 年 4 月 26 日 (2013.4.26)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の映像フレームからなる第一の映像データの一部に続き、前記第一の映像データとは異なる複数の映像フレームからなる第二の映像データの一部を連結させる映像編集装置であって、

前記第一の映像データを構成する複数の映像フレームと前記第二の映像データを構成する複数の映像フレームとから、相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する選択手段と、

前記選択手段により相関が高い映像フレームの組み合わせとして選択された前記第一の映像データにおける映像フレームと前記第二の映像データにおける映像フレームとを、連結させる連結手段と、  
 を有する映像編集装置。

【請求項 2】

前記選択手段は、前記第一の映像データを構成する映像フレームと前記第二の映像データを構成する映像フレームとにおいて、同一被写体の同一動作を検出した場合、映像フレーム間の被写体の動作の連続性に基づいて相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する請求項 1 に記載の映像編集装置。

【請求項 3】

前記選択手段は、前記第一の映像データを構成する映像フレームと前記第二の映像データを構成する映像フレームとにおいて、同一被写体の移動を検出した場合、映像フレーム間の被写体の移動方向の同一性に基づいて相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する請求項 1 に記載の映像編集装置。

【請求項 4】

前記選択手段は、前記第一の映像データを構成する映像フレームと前記第二の映像データを構成する映像フレームとにおいて、同一被写体を検出した場合、映像フレーム間の被写体の位置の同一性に基づいて相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する請求項 1 に記載の映像編集装置。

【請求項 5】

前記選択手段は、前記第一の映像データを構成する映像フレームと前記第二の映像データを構成する映像フレームとにおいて、同一被写体を検出した場合、前記映像フレームにおける各被写体の視線方向の同一性に基づいて相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する請求項 1 に記載の映像編集装置。

【請求項 6】

更に、ユーザによる操作入力検出或いは予め規定された選択条件に基づき、3 つ以上の複数の映像データの中から、前記第一の映像データと前記第二の映像データとして用いる映像データを選択する選択手段を有する請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の映像編集装置。

【請求項 7】

複数の映像フレームからなる第一の映像データの一部に続き、前記第一の映像データとは異なる複数の映像フレームからなる第二の映像データの一部を連結させる映像編集装置が実行する映像編集方法であって、

前記第一の映像データを構成する複数の映像フレームと前記第二の映像データを構成する複数の映像フレームとから、相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する選択ステップと、

前記選択ステップにより相関が高い映像フレームの組み合わせとして選択された前記第一の映像データにおける映像フレームと前記第二の映像データにおける映像フレームとを、連結させる連結ステップと、を含む映像編集方法。

【請求項 8】

複数の映像フレームからなる第一の映像データの一部に続き、前記第一の映像データとは異なる複数の映像フレームからなる第二の映像データの一部を連結させるコンピュータに、

前記第一の映像データを構成する複数の映像フレームと前記第二の映像データを構成する複数の映像フレームとから、相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する選択ステップと、

前記選択ステップにより相関が高い映像フレームの組み合わせとして選択された前記第一の映像データにおける映像フレームと前記第二の映像データにおける映像フレームとを、連結させる連結ステップと、を実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、複数の映像フレームからなる第一の映像データの一部に続き、前記第一の映像データとは異なる複数の映像フレームからなる第二の映像データの一部を連結させる映像編集装置であって、前記第一の映像データを構成する複数の映像フレームと前記第二の映像データを構成する複数の映像フレームとから、相関が高い映像フレームの組み合わせを選択する選択手段と、前記選択手段により相関が高い映像フレームの組み合わせとして選択された前記第一の映像データにおける映像フレームと前記第二の映像データにおける映像フレームとを、連結させる連結手段と、を有する。